

無機材料への蒔絵定着技術の研究 ガラスやカップなど生活用品に使える蒔絵技術

技術分野分類 5402：高分子・繊維材料
技術キーワード (7)：天然・生体高分子材料
産業分類 E-32 その他の製造業

| | | |
|-------------------|-------------------------|--|
| 内 容 | 概 要 | ガラスや陶器などの無機材料に、漆のみで細かい絵柄を施す蒔絵の従来技術では、製品の使用時や洗浄時に漆の剥離や蒔絵粉の欠落など、耐久性の低下が課題であった。そこで、漆にシランカップリング剤を配合した改質漆や下塗剤を利用してガラス上に蒔絵を施す技術を開発した。 |
| | 従来技術・競合技術との比較(優位性) | 従来技術(図 1A)に対して、漆の改質(図 1B)や下塗剤の利用(図 1C)で、ガラス上に蒔絵を施す技術を開発した。その耐洗浄性(食洗機での 100 回洗浄)について評価したところ、従来技術より格段に剥離を抑えることができ、耐久性に優れた蒔絵定着技術であることが確認できた(図 2)。 |
| | 本技術の有用性 | 漆塗膜の耐洗浄性が向上するため、蒔絵ガラスや陶磁器カップなどの製品開発が可能となる。 |
| 関連情報 (図・表・写真等) | | <p>図 1 蒔絵断面のイメージ</p> <p>図 2 耐洗浄性の結果</p> |
| 適用可能製品 | | ガラス食器、陶製食器、装飾品 |
| 技術 シーズ 保有者 | 氏名 所属・役職 | 梶井 紀孝 (かじい のりたか) 繊維生活部・主任研究員 |
| 技術 シーズ 照会先 | 窓口 TEL/FAX e-mail | 企画指導部 076-267-8081/076-267-8090 kikaku@irii.jp |

■知的財産 無

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2022 年 12 月 15 日